

【事例発表 3】

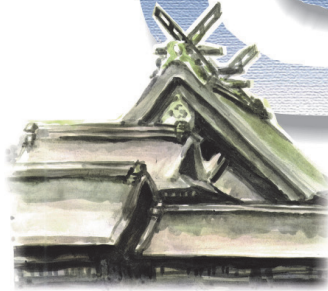
「飼料用米の低コスト生産とまい米牛ブランド化」

いずも農業協同組合 常務理事  
岡田 達文 氏

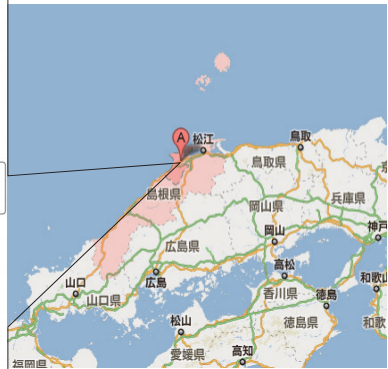
# 飼料用米の低コスト生産と まい米牛のブランド化について

いずも農業協同組合  
岡田 達文

神話の國出雲  
～神々の恵み～



## 出雲市 JAいずも位置





## 飼料用米普及拡大の目的、意義

- ◇ 耕種農家側・・・水田の有効活用
  - ① 耕作放棄地や不作付地の解消・予防
  - ② 農家所得の確保、転作消化、作業分散
- ◇ 畜産農家側・・・地場飼料の確保＝飼料の地産地消
  - ③ 飼料の安全かつ安定的な確保(品質・価格・数量)
  - ④ 付加価値の創造(ブランド育成)
- ◇ 消費者側(生協・一般消費者)・・・安全・安心の確保
  - ⑤ 地元産農畜産物の安定的な消費
  - ⑥ より安全・良質な食品の消費



## 県下の状況

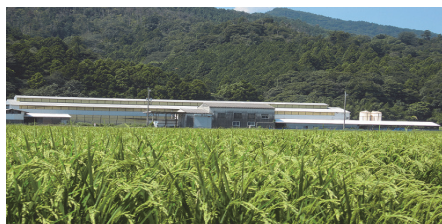
### 推進組織

H20. 2～ JAグループ島根非主食用米研究会

構成組織: JA、全農県本部、中央会、西日本くみあい飼料  
県(アドバイザー)

H21. 4～ 島根県飼料用米推進協議会

構成組織: 県、養鶏協会、畜産振興協会、県NOSAI、  
JA、全農県本部、中央会





## JAいずもでの取組みのはじまり

(1)平成19年の試験栽培10aから取組みを開始

(2)当時の狙い

- ・転作増加に伴う耕作放棄地解消
- ・乾田化できない圃場での生産調整対応
- ・既存機械で栽培可能な品目
- ・世界的石油価格高騰による燃料不安  
(バイオエタノール需要)
- ・飼料価格高騰対策



## JAいずもの飼料用米作付面積の推移

作付年度	面積	反収	収量	生産者数	備考
20	6.6ha	玄米505 k g	33.6t	9名	20円/玄米kg
21	60.0ha	粳米525 k g	315.0t	58名	32円/もみ米kg
22	187.0ha	粳米589 k g	1103.2t	267名	24円/もみ米kg
23	295.0ha	粳米634 k g	1883.9t	358名	19円/もみ米kg
24	289.8ha	粳米628 k g	1820.0t	338名	23円/もみ米kg

### 支援事業

平成20年度 飼料米生産定着化モデル事業（県）  
 平成21年度 水田等有効活用促進交付金（国）  
 平成22年度 戸別所得補償制度モデル対策水田活用自給力向上事業（国）  
 平成23年度 戸別所得補償制度水田活用の所得補償交付金（国）  
 平成24年度 戸別所得補償制度水田活用の所得補償交付金（国）

### 玄米→粳米

玄米給餌から粳米給餌への切り替えは、低価格で買入したい養鶏農家の要望と耕種農家の粳摺りに係る労力、生産コスト、流通経費削減を期待している。また、養鶏農家からは、粳に含まれるミネラル等の有用成分が鶏に与える好影響を期待している。 粳も大事な資源!?



## 飼料用米利活用研究会の立上げ

研究会設置 平成21年7月31日

目的 飼料用米の推進によって、水田の有効活用による不作付け地の解消や耕畜連携による生産性及び食料自給力の向上を目指し、継続的かつ安定的な飼料米の利活用方法の確立を調査・研究する。

実施機関	役割
島根県 畜産技術センター 農林振興センター（普及）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培技術指導</li> <li>・専門技術提供</li> <li>・その他畜種への利活用調査・検討・実証</li> <li>・情報提供</li> </ul>
出雲市 農業振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進事例調査</li> <li>・情報提供</li> <li>・関連補助事業の整理・活用支援</li> </ul>
JAいずも養鶏部会 JAいずも肥育牛部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与実証</li> <li>・家畜、畜産物への影響調査</li> </ul>
いずも農業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進事例調査</li> <li>・耕畜連携コーディネート</li> <li>・農家への協力要請</li> <li>・事務局運営</li> </ul>



## 低コスト生産への取組み

平成20年

飼料用米生産における生産コスト低減を目的に鉄コーティング直播の実証を開始（約1.7ha）



平成21年

発芽不良、除草対策、水管理等の課題に対する対策をまとめ、栽培講習会と現地指導を実施（約20ha）

- ・低コスト・省力追肥（硫安流し込み）実証試験
- ・飼料用米立毛乾燥実証試験



平成22年

鉄コーティング種子大量製造機導入。種子製造から栽培技術指導まで活動の展開。前年の飼料用米での安易な取組みを反省し生産者を限定。（約13ha）

- ・多収性品種栽培実証試験
- ・低コスト・省力追肥（硫安流し込み）実証試験





## 低コスト生産への取組み

平成23年

直播栽培の優位性と栽培技術の向上から主食用(きぬむすめ)を中心に面積拡大(約20ha)

平成24年

1,850kgの種子を製造(近隣JA等へも販売)  
管内栽培面積は約32haに拡大  
(主食用:約18ha、飼料用:約14ha)



H22、H23年産では、**直播用レンタル田植機の運用**も実施したが、技術普及から、機械導入につながり、また機械導入生産者による受託作業へと広がり24年産ではレンタル事業を実施していない



## 飼料用米生産推進のためCEの再編整備

### カントリーエレベーターによる 集出荷・供給体制の整備・構築

- ・実需者が初給餌を要望
- ・実需要望(給餌)は、フレコン出荷形態
- ・フレコン出荷で流通コストの削減
- ・乾燥施設の無い小規模生産者への対応  
=栽培面積確保
- ・主食用との完全隔離保管
- ・需要に応じた生産量の確保(生産量の把握)



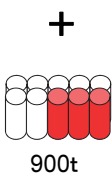
# 飼料用米受入の体制整備

## 【常松CE】



最大貯蔵能力 2000t  
 多目的CE (米麦共用)  
 サイロ 250 t × 8 (うち飼料用2本)  
 H21 飼料用対応整備済 (JA単独整備)

## 【西部CE】



最大貯蔵能力 3000t  
 サイロ 300 t × 10 (うち飼料用3本)  
 一次保管倉庫 600kg × 144本max  
 主食との区別排出可 フレコン重量計有  
 H22 飼料用対応整備済 (国費：プロ交...活用)

## 【平田CE】

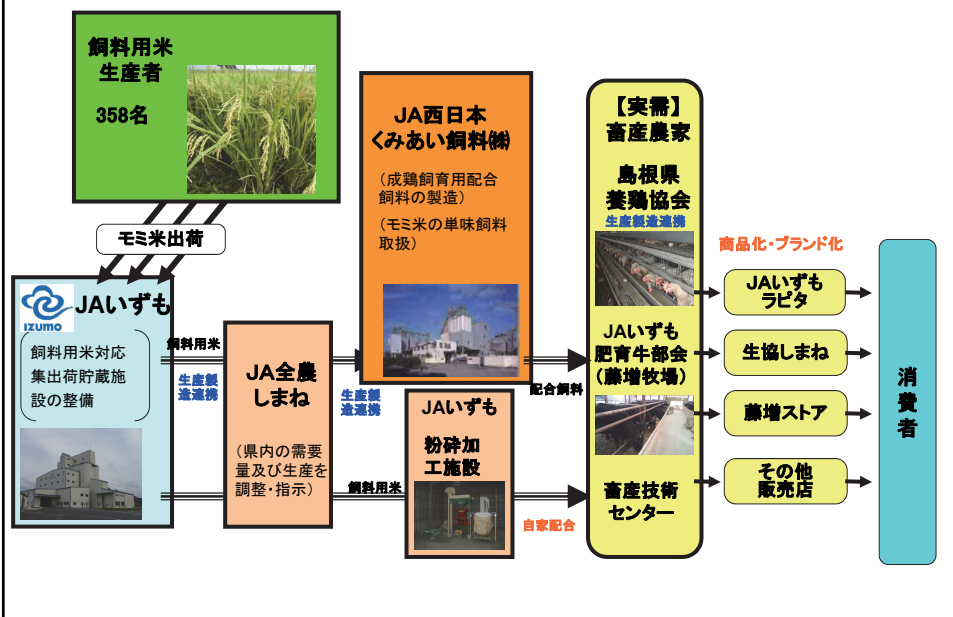


最大貯蔵能力 2000t  
 サイロ 250 t × 8 (うち飼料用4本計画)  
 H23 飼料用対応整備済  
 (国費：戦略作物...活用)

**=2400tの最大貯蔵能力**



# 流通フロー(イメージ)





## ブランド化への取組み

平成20年	2月	JAグループ島根非主食用米研究会設置
	10月	<b>採卵鶏に試験給餌（玄米）開始</b>
平成21年	4月	島根県飼料用米推進協議会設置
	5月	飼料用米本格生産に着手 飼料用米主力品種（みほひかり）60ha 〔水田等有効活用促進交付金事業（国）〕
	8月	飼料用米利活用研究会設置
	10月	<b>採卵鶏への飼料用米（もみ米）本格給餌開始（10%配合）</b>
	11月	<b>畜産技術センターにて和牛への飼料用米給餌開始</b>
	12月	<b>『こめたまご』発売開始</b>
平成22年	4月	<b>西日本くみあい飼料（株） 養鶏用（もみ米）配合飼料水島工場製造開始</b>
	8月	<b>JAあきた北央視察（CE常温保管・飼料用米粉碎机）</b>
	8月	<b>JAいわて中央視察（ブランド育成）</b>
	8月	<b>山形県農業総合研究センター畜産試験場視察 （膨軟発酵・プレスパンダー）</b>
	9月	<b>第1回飼料用米給餌和牛試食求評会（25%配合）</b>



## ブランド化への取組み

平成23年	2月	<b>藤増牧場へ粉碎もみ米受入のための施設整備</b> 〔平成22年度飼料用米の利用加速化緊急対策事業（県）〕
	2月	<b>藤増牧場での粉碎もみ米の本格給餌開始（25%配合）</b>
	3月	<b>JAいずもへ飼料用米粉碎机導入</b> 〔平成22年度飼料用米の利用加速化緊急対策事業（県）〕
	5月	飼料用米（みほひかり） 295ha 〔戸別所得補償制度水田活用の所得補償交付金（国）〕
	5月	平田CE飼料用米対応改修工事 事業申請 〔平成23年度戦略作物生産拡大関連施設緊急整備事業（国）〕
	5月	飼料（粉碎もみ米）製造事業所の届出
	7月	<b>飼料用米粉碎開始</b>
	7月	<b>第2回飼料用米給餌和牛試食求評会（50%、75%）</b>
	7月	<b>JA菊池視察（ブランド育成）</b>
	10月	平田CE飼料用米対応改修工事 着工 〔平成23年度戦略作物生産拡大関連施設緊急整備事業（国）〕
	12月	<b>まい米牛発売前試食会</b>
	12月	<b>まい米牛発売開始！</b>





# こめたまご

平成21年12月発売開始

【平成24年2月15日現在の販売価格】  
 こめたまご 168円/6P →438円/kg  
 ネッカエッグ 212円/M10P→348円/kg  
 【主な販路】  
 ラピタ全店 生協



# まい米牛

平成23年12月15日発売開始

## ○名前の由来

美味しいを出雲弁で「まい!」といいます。  
 うまいの「まい」とお米の「まい」をかけて「まい米牛」と名付けました。





## まい米牛の定義

### ○まい米牛とは

飼料用米を10ヶ月間以上給与し、JAいずも肥育牛部会員が生産した黒毛和種の去勢および未経産。

島根のお米を食べて育った

## まい米牛



### ○まい米牛の定義

- ①肥育地 JAいずも管内
- ②生産者 JAいずも肥育牛部会員
- ③肥育期間 18ヶ月以上
- ④飼料 JAいずもが指定した飼料に加え飼料用米を配合飼料の20%以上添加し、10ヶ月以上給与して肥育されたもの
- ⑤種別 黒毛和種の去勢および雌(未経産)



## 粉碎粳米の配合方法

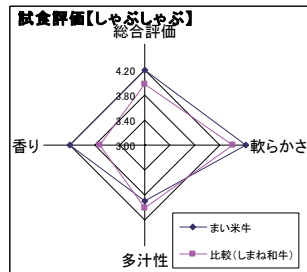
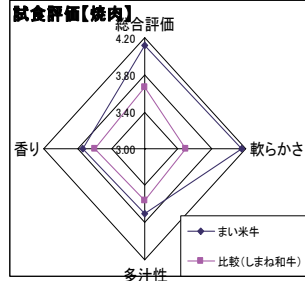




## 第1回 試食求評会結果

【焼肉】	総合評価	軟らかさ	多汁性	香り
まい米牛 25%代替	4.11	4.15	3.70	3.74
比較 (しまね和牛)	3.67	3.48	3.56	3.59

【しゃぶしゃぶ】	総合評価	軟らかさ	多汁性	香り
まい米牛 25%代替	4.19	4.59	3.89	4.19
比較 (しまね和牛)	3.96	4.39	4.00	3.71



## 粉碎粳米の効果

### ◇コスト削減効果

粉碎粳米を20%代替給餌することにより8.6%のコスト削減効果

### ◇嗜好性良好

飼料の1日あたりの採食量向上。  
粳付き飼料米を食べると早く仕上がる印象！

### ◇食味の向上

3度の試食会の評価はいずれも好調！  
脂に甘みを感じ、口どけが良い！意見多数！！  
比べて食べるととても良くわかる。





## 課題 次に目指すところは・・・

- 小規模肥育農家に飼料用米の利用拡大
- 配合方法の検討  
（自家配合→粳米配合飼料の商品化）
- まい米牛の販路開拓
- 乳牛への供給・利活用の可能性
- 飼料用米の価格向上
- 全国共計＝玄米流通
- 飼料用米利活用の長期安定化



## 飼料用米の低コスト生産と まい米牛のブランド化について

ご清聴ありがとうございました。

